

1 教育目標 自ら考える子【知】 心豊かな子【徳】 たくましい子【体】

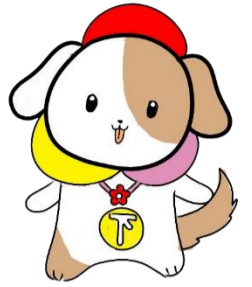
全ての子ども学びを保障し、全ての子ども安心・安全な居場所となるよう、一人一人を大切に人権尊重の理念を基盤に教育活動を推進します。



目指す学校像 **元気に登校、楽しく生活、満足して下校できる 笑顔あふれる学校**

目指す児童像 **みずからチャレンジ 笑顔かがやく 下小岩の子**

目指す教職員像 **チームとして協働し、互いに切磋琢磨する教職員**



(1) 確かな学力の向上

- ① 主体的に学習に取り組む態度の育成（見通し・粘り強い取組・学びの振り返り）
 - ・「分かる」喜び、「できる」楽しさを感じられる魅力ある授業
 - 【校内研究】算数科 授業改善を進める。
 - ◇「めあて」「自力解決」「交流」「まとめ」「振り返り」（黒板掲示カード）
 - ◇『江戸川区算数授業スタンダード』の活用（問題解決的な授業展開）
 - ・一人1台端末の積極的な活用、授業支援アプリ（ミライシード）
 - ・民間学力調査を実施し、自己の学びを振り返る機会とする。（2～6年生）
- ② 学習の基盤となる基礎・基本の確実な習得
 - ・学習規律の徹底 ・全校共通「学習ルール」 ・九九強化の取組
 - ・全学年 算数習熟度別指導の実施（個別最適な学び）
 - ・区学力向上PTと連携した取り組み
 - ◇「東京ベーシックドリル」による診断をもとにした補習（学習タイム）
 - ◇「アイテム算数」を使用した個別最適な学び（3～6年）
 - ・民間企業による補習教室（2～6年生）
 - ・外国語教育の充実（専科教員による指導、ALTとの連携指導）
- ③ 読書科の推進 『主体的に読む子ども、問いつづける子ども』の育成～
 - ・読書を通じた探究的な学習を通して、情報活用能力、問題発見・解決能力、言語能力を育成。「江戸川っ子 読書科コンクール」に全員参加。
 - ・教科指導で学校図書館を積極的に活用（学校司書 1回/週）
 - ・「よむYOMUワークシート」の取組（新聞記事を読み読解力の向上）
- ④ 教科担任制、学年内交換授業の実施
 - ・高学年：社会、理科、国語・書写など ・全学年：道徳の交換授業
- ⑤ 家庭学習習慣の確立
 - ・家庭や学校でiPad「ドリルパーク」を積極的に活用。
 - ・「江戸川っ子 study week!」各学期に1週間（7日間）実施

(3) 体力向上

- ① 体力の向上
 - ・外遊びの奨励（中休みは全員外遊び）
 - ・中休みを活用した運動遊び。「長縄月間」「持久走月間」を設定
 - ・区「なわ跳びチャレンジウィーク」学期に1回実施。
 - ・体力テストの実施と分析
- ② 食育の推進
 - ・栄養士による授業を年間1回以上実施
 - ・歯みがき指導。給食後の歯みがきを実施。区による歯ブラシ提供
- ③ 生活リズムの向上
 - ・生活リズムウィークの実施、「早寝 早起き 朝ごはん」
 - ・「下小岩 SNS 学校ルール」家庭と連携した情報モラルの向上

(4) 共生社会の実現に向けた教育の推進

- ① 地域に貢献できる児童の育成 「小岩が大好き！」
 - ・総合的な学習の時間 「私たちの下小岩」：昨年度開発した教材
 - ・縁日祭り、花壇コンクール等、地域行事に積極的に参加
 - ・『2030年SDGsビジョン』『2100年 共生社会ビジョン』の学習
- ② 個に応じた指導・支援の充実
 - ・障害の状況、不登校、日本語未習得、医療ケア等の実態に即した支援シートを作成し、ねらいを明確にした指導を実施
 - ・家庭、巡回指導教員、SC、学校心理士等、関係機関と連携し対応
- ③ エンカレッジルームの活用促進、介助員の配置
- ④ ユニバーサルデザインの視点での授業改善、教室環境の整備
- ⑤ 「学校2020レガシー」
 - ・パラアスリートによる授業・講演会
 - ・日本の伝統文化体験（地域の方から学ぶ）

(5) 地域に広く開かれた学校の実現・信頼される学校

- ① 保護者・地域への積極的な情報提供
 - ・学校だより、学年だより、ホームページ、学校公開等
 - ・tetoruの（連絡メール）積極的な活用によるペーパーレス化
- ② 保護者、地域と共に児童の安全を守る学校
 - ・新型コロナウイルス、インフルエンザ等の感染症防止に努める
 - ・防犯対策、避難所開設訓練
 - ・全保護者で児童の登校見守りを実施（PTA本部の支援）
- ③ 学校関係者評価を活用した教育活動の改善・充実
 - ・保護者アンケート、学校関係者評価委員会（学校評議員会）
- ④ 保護者への対応
 - ・怪我、トラブル、事故：その日のうちに迅速・確実・丁寧に対応
 - ・常に受容と共感の姿勢で信頼関係を築く
- ⑤ 安全・安心の居場所づくり
 - ・児童理解に基づいた、一人一人を大切に指し導と言動
 - ・教師と子ども、子ども同士の温かな人間関係の構築
 - ・教室環境の美化、言語環境・人権への配慮
 - 最大の環境は教職員との意識で！！
 - ・不登校対策として「居場所づくり」「きずなづくり」
 - ・毎朝、教師が児童を教室で迎え安心・安全のスタート！！

(2) 豊かな心・健全育成

- ① 「心の3色のバラ」の共通実践により基本的な生活習慣の確立、互いを認め合い大切にする人権感覚を育む。
 - ◇赤 「あいさつ」良好なコミュニケーション
 - ◇黄 「きまり」安全で楽しい集団生活
 - ◇ピンク「思いやり」温かな人間関係、整理整頓、美化
- ② 生活スタンダード「下小岩のよい子」の共通実践
- ③ たて割り班活動による異学年交流
 - ・たて割り班アスレチック遠足 ・たて割り班遊び
- ④ 道徳教育の充実
 - ・道徳授業地区公開講座（3学期実施）
- ⑤ いじめ防止の取組
 - ・「下小岩小学校いじめ防止基本方針」を基に組織的対応
 - ・年3回の児童アンケート、hyper-QUの実施と活用
- ⑥ 不登校対応の充実
 - ・区「Hot Project」の始動。校内でも組織的な体制を整備。
- ⑦ 安全教育の充実
 - ・避難訓練、不審者対応訓練、自転車教室・薬物乱用防止・情報モラル教室
 - SOSの出し方教室（自殺防止教育）など
- ⑧ 体験活動、宿泊行事の充実（5年：ウィンタースクール・6年：日光移動教室）
- ⑨ キャリア教育により、自己実現に向かって努力する態度を育成
 - ・キャリアパスポートの活用（目標・成長と達成感・自分の良さや可能性）
 - ・学級や学校で自己の役割を果たすことで自己有用感を育む。
- ⑩ 『江戸川区子どもの権利条例』の理解を通して人権意識を高める。

